



レポート課題に役立つ！図書館資料の使い方

「論証型」のレポートを書くときは図書館を使おう！

レポート課題は、おおむね4タイプに分けられます。

タイプ	求められている内容	課題例
説明型※	書き手の理解度を確認、または課題を通して理解度を深めるためのレポート	「授業の内容をまとめなさい」 「〇〇という言葉をつかって説明しなさい」 「〇〇という本の内容を要約しなさい」
報告型	実習などでの成果報告のためのレポート	見学レポートや実習の報告レポート
実証型	与えられたテーマについて仮説をたてて、実験や調査で仮説を実証する	「〇〇を調査し、まとめなさい」 「〇〇について実験し、」
論証型	与えられたテーマについて「問い」を立て、根拠となる情報を使って、自分の意見を論理的に示す	「〇〇について、自らの意見を述べよ」 「〇〇が〇〇なのは何故か、論理的に示せ」 「〇〇は必要か？について論じなさい」

論証型のレポートのとき、図書館が役に立ちます！

※説明型のレポートの場合も、下記の①と⑤の資料が役に立つかも！

図書館にある資料の特徴と使い方

資料にはそれぞれ特徴があります。特徴をつかんで、レポートに適した資料を選びましょう。

① 辞書・事典などの参考資料

↳用語や概念について基本的につかんでおくべき事柄が載っている。関連する言葉が載っていることも。

言葉の定義を調べたいときやテーマについての基礎的な事項をまとめたいときの参考に。

② 新聞

↳時事的な見解を知ることができる。新聞社によって視点が違うため、数紙を比較すると良い。

新しい事柄についてのレポートを書くときや、時代による見解・記録を知りたいとき。

③ 雑誌

↳新聞のように時事的な見解を知ることができるが、専門誌などであればより詳しい情報が載っている。

新聞とほぼ同じ用途だが、より専門的な見解・記録について知りたいとき。

④ 雑誌論文(紀要や論文集)

↳まだ書籍化していない新しい研究についての論文が掲載される。電子ジャーナルなどで読めたりする。

最新の研究成果を知りたいとき。レポート内に書く自分の意見の根拠資料として使う。

⑤ 入門書、解説書

↳テーマを理解する上で重要な情報や知識が体系的にまとまっている。

説明型のレポート作成時に一番役に立つ資料。論証型の場合も、基礎的な事項の確認に役立つ。

⑥ 専門書・研究書

↳入門書などよりも絞られたテーマについて、研究の成果などがまとまっている。

レポート内の根拠となる情報を収集できる。大学図書館にある資料はほとんどこの種類。

⑦ 統計書・白書・データ集

↳客観的な統計データが載っている。

図書館を活用して、レポートのクオリティを上げよう！